

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年3月13日 (2008.3.13)

【公表番号】特表2003-519197(P2003-519197A)  
 【公表日】平成15年6月17日 (2003.6.17)  
 【出願番号】特願2001-549684(P2001-549684)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/7088 (2006.01)  
 A 6 1 K 35/76 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39  
 A 6 1 K 31/7088  
 A 6 1 K 35/76  
 A 6 1 K 39/00 A  
 A 6 1 K 39/00 H  
 A 6 1 P 35/00

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年1月7日 (2008.1.7)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 動物において抗原に対する免疫応答を増強するための組成物であって、誘導物質と、抗原または該抗原をコードする核酸とを含み、(a) 動物に前記誘導物質が投与され、その後、(b) 該動物に前記誘導物質および前記抗原または該抗原をコードする核酸が投与されることを特徴とする組成物。

【請求項 2】 前記誘導物質が細菌トキソイドであることを特徴とする請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】 前記細菌トキソイドが、破傷風トキソイドまたはジフテリアトキソイドであることを特徴とする請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】 前記抗原がタンパク質であることを特徴とする請求項 1 - 3 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 5】 前記抗原が、腫瘍抗原、自己免疫抗原、および病原体から単離された抗原より成る群から選択されることを特徴とする請求項 4 記載の組成物。

【請求項 6】 前記腫瘍抗原が、gp100、癌胎児性抗原、チロシナーゼ、TRP-1、TRP-2、MART-1/Melan A、MAGEファミリー、BAGEファミリー、GAGEファミリー、RAGEファミリー、KSA、NY ESO-1、MUC-1、MUC-2、p53、p185、HER2/neu、PSA、およびPSMA、ならびにそれらの修飾形態より成る群から選択されることを特徴とする請求項 5 記載の組成物。

【請求項 7】 前記腫瘍抗原が、gp100または癌胎児性抗原、あるいはそれらの修飾形態であることを特徴とする請求項 5 記載の組成物。

【請求項 8】 前記抗原が、gp100、または配列番号 2 に示す配列を有する修飾gp100であることを特徴とする請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】 前記抗原が、癌胎児性抗原(CEA)、または配列番号 4 に示す配列を有

する修飾CEAであることを特徴とする請求項 7 記載の組成物。

【請求項 10】 誘導物質と抗原をコードする核酸を含むことを特徴とする請求項 1 - 9 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 11】 核酸配列が、ベクター、プラスミド、または細菌 DNA 中に含まれていることを特徴とする請求項 10 記載の組成物。

【請求項 12】 前記ベクターがウィルスベクターであることを特徴とする請求項 11 記載の組成物。

【請求項 13】 前記ウィルスベクターが、アデノウィルス、アルファウィルス、およびボックスウィルスより成る群から選択されることを特徴とする請求項 12 記載の組成物。

【請求項 14】 前記ボックスウィルスが、ワクシニアウィルス、鶏痘ウィルス、およびアピボックスウィルスより成る群から選択されることを特徴とする請求項 13 記載の組成物。

【請求項 15】 前記ボックスウィルスが、TROVAC、ALVAC、NYVAC、およびMVAより成る群から選択されることを特徴とする請求項 14 記載の組成物。

【請求項 16】 前記誘導物質および抗原または抗原をコードする核酸の投与 (b)が、前記誘導物質の投与 (a)の約 3 週間から約 6 週間後に行われることを特徴とする請求項 1 - 15 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 17】 前記誘導物質および抗原または抗原をコードする核酸の投与 (b)が、前記誘導物質の投与 (a)の約 3 週間から約 4 週間後に行われることを特徴とする請求項 1 - 15 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 18】 (c) 第 2 の用量の前記誘導物質および前記抗原または該抗原をコードする核酸がさらに投与されることを特徴とする請求項 1 - 17 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 19】 前記第 2 の用量の誘導物質および抗原または抗原をコードする核酸の投与 (c)が、前記誘導物質および抗原または抗原をコードする核酸の投与 (b)の約 3 週間から約 6 週間後に行われることを特徴とする請求項 18 記載の組成物。

【請求項 20】 前記第 2 の用量の誘導物質および抗原または抗原をコードする核酸の投与 (c)が、前記誘導物質および抗原または抗原をコードする核酸の投与 (b)の約 3 週間から約 4 週間後に行われることを特徴とする請求項 18 記載の組成物。

【請求項 21】 サイトカイン、リンホカイン、補助的刺激分子、およびそれらをコードする核酸より成る群から選択される 1 つ以上の物質と組み合わせて抗原が投与されることを特徴とする請求項 1 - 20 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 22】 アジュバントと組み合わせて抗原が投与されることを特徴とする請求項 1 - 21 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 23】 前記誘導物質が破傷風トキシソイドまたはジフテリアトキシソイドであり、かつ前記抗原が腫瘍抗原であることを特徴とする請求項 1 - 22 何れか 1 項記載の組成物。

【請求項 24】 癌の治療のための組成物であることを特徴とする請求項 23 記載の組成物。